

2014年11月13日

内閣総理大臣 安倍晋三 殿

エボラ出血熱感染拡大防止への迅速な対応を求める要望書

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

今週末に G20 首脳会合がブリスベンで開催されるにあたり、国際 NGO セーブ・ザ・チルドレンは多くのパートナーと共に、G20 諸国の首脳に対し、エボラ出血熱感染拡大を止めるための迅速な対応と、人員、装備、資金の確保を求める署名運動を実施いたしました。日本では 1,047 筆、国際的には 165,490 筆が集まりましたので、併せて提出させていただきます。

ギニアで初めてエボラ出血熱の感染が確認されてから約 9 か月の間に、5,000 人以上の命が奪われ、この 10 年間の開発の成果が危機にさらされています。各国政府および国際社会の尽力にもかかわらず、ギニア、リベリア、シエラレオネにおける感染拡大は未だ制御不能な状態にあります。これらの国々の保健システムは極限状態にあり、272 人のヘルスワーカーが、支援の最前線で命を落としました。

この信じがたい規模の危機は、今や日常生活のあらゆる側面に影響を及ぼしています。教育は休止状態にあります。3,700 人もの子どもたちが親を亡くし、拡大し続ける脅威と困難に直面しています。基礎的な保健医療サービスも提供されていません。生計や経済活動は非常に不安定な状態にあり、食料安全保障の見通しも壊滅的な傾向を示しています。

この危機は、従来の伝統的な人道支援の枠を超えた、集団的な努力を必要としています。セーブ・ザ・チルドレンをはじめとする NGO は、政府や国連機関と並び、役割を果たしてきましたが、共に訓練を受けた医療専門家を世界中から緊急招集しなければ、この感染拡大を食い止めることは出来ないでしょう。

エボラ出血熱への国際対応に関する国連枠組みは、この疾病を封じ込めるため、10 月末・11 月末・12 月末までに達成すべき目標を設定しました。特にこの目標は、年内にエボラ患者の 70% が治療され、また埋葬の 70% が安全に行われるようになることを目指しています。10 月末までの目標は、「オペレーションの実現要因」、つまり感染国における専門的な医療ケア、緊急医療退避、航空輸送、救護要員に対する金銭的支援および個人防護具の付与などに焦点を当てています。10 月末は過ぎましたが、これらの「実現要因」は未だ満たされていません。

今週末の G20 首脳会合は、世界で最も影響力があり、最も豊かな国のリーダーが、この危機の終結を迎えるために不可欠なコミットメントに合意するための重要な機会です。11 月 7 日の日本政府の新たな支援表明に敬意を表すと共に、感染国への医療専門家の派遣等による直接的支援のより一層の増強、また国際社会が強固な協力体制を築き、一丸となってこの危機に取り組めるよう、日本のリーダーシップのご発揮をお願い申し上げます。

敬具

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
専務理事・事務局長 千賀邦夫

本件に関するお問い合わせ・照会は、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
堀江由美子 ([horie@savechildren.or.jp](mailto:horie@savechildren.or.jp)) (03-6859-6867) までお願いいたします